

ただ一心に咲く

一桜が教えてくれる人生で大切なこと

立部 祐道 著

中央公論新社 2017年

この本は、京都、仁和寺の第五十世門跡である立部祐道氏による初著書です。仁和4年（888年）に創建された仁和寺は、「桜」で有名で、平成6年には世界遺産にも登録されています。

この春、宗像大社にも縁が深い鎮国寺を訪れた際、本書に出会い、題名に惹かれページをめくってみました。

内容は、寒い冬を耐え忍び、春には満開の花を一心に咲かせ、毎年、人々の心を魅了する桜の美しさが教えてくれる、人生の春夏秋冬、人それぞれの季節を美しく彩るために大切なことがまとめてあります。

構成は、「春」、「夏」、「秋」、「冬」、「道」、「仁和寺あれこれ」の6章からなっており、どの章も著者の言葉が、スーッと優しく心に響いてきます。

強くしなやかに生きていくためのヒントが沢山つまったお薦めの一冊です。

立部氏は、宗像市の鎮国寺の名誉住職もなさっていらっしゃるようです。桜の季節、人気のパワースーツにもなっている鎮国寺にもぜひ足を運ばれてみては如何でしょうか？

鶴田 智子（福岡女子短期大学教員）